

# 一般質問通告書

東村山市議会会議規則第62条第2項に基づき、下記の通り一般質問の通告をする。

東村山市議会議長殿

2015年5月28日

質問者 6 矢野穂積

## 1 国会党首討論に見る「歴史認識」について

1945年、日本は8月10日にポツダム宣言を受諾して無条件降伏した。このポツダム宣言については先日の国会党首討論でも言及されていたのであるが、首相は日本の戦争について間違った戦争だとの認識がポツダム宣言には示されているが、首相は認めないのかと質されたのであるが、首相は「その部分をつまびらかに読んでいないので論評は控える」と間違いかどうかの回答を拒否した。

そこで、そこで市民の安全・生命を守る責務を負う立場である渡部市長は、昨年も自衛隊入隊予定者を集めて激励のセレモニーをしているが、以下についてどのような認識を持っているのか伺う。

① 首相が党首討論で「ポツダム宣言をつまびらかに読んでいないので、論評は控える」と発言したことについて、戦後日本の再出発を記載した基本文書を当事者の日本の首相自身がつまびらかに読んでいないと国会の党首討論で答えたことについて、許されると考えるか明らかにしていただきたい。

② ポツダム宣言で指摘されている「日本の人民を欺き誤らせてやらせようとした」のは何だと認識しているか。

## 2 横田基地の周辺市としての対策について

「米軍または自衛隊の航空機事故」について東村山市防災計画でも想定され対策が記載されている。「米軍及び自衛隊飛行場周辺航空機事故等連絡会議」等、当市の安全対策について伺う。

矢野 穂積

- ① 「米軍及び自衛隊飛行場周辺航空機事故等連絡会議」について
- (1) 関係機関（自治体・組織）はどのようになっているのか伺う。
  - (2) この会議が設立された理由と目的
  - (3) どのようなことを想定して設立された会議か
  - (4) これまでの会議の内容
- ② 米軍または自衛隊の航空機事故については東村山市防災計画にも応急対策が明記されているが、「横田基地周辺市町基地対策連絡会」との連携や情報共有について伺う。
- (1) 米軍または自衛隊の航空機事故について、横田基地周辺市町基地対策連絡会との連携や情報共有はどのようになっているか。
  - (2) 横田基地周辺市町基地対策連絡会の国に対する最近の動きについて、どのように把握しているか。今後、本市として連絡会とどのように情報共有、連携していくか。
- ③ 横田基地の航空機飛来による当市の学校施設への影響。

以上について、市民の安全を守るべく市長に対して総括的に伺う。